Android 用 API ライブラリ Rev.3.01 への移行手順

● はじめに

商号変更に伴い、Android 用 API ライブラリ Rev.3.01 より Android JavaAPI ライブラリ のパッケージ名称を

jp.co.dts_insight.emb

に変更しました。

本文章は、Android 用 API ライブラリ Rev.3.00 以前より、Android 用 API ライブラリ Rev.3.01 以降にバージョンアップする手順を示したものとなります。

● 変更が発生するケース

Android 用 API ライブラリをご使用になっており、Java ソースファイルにチェックポイン トを挿入されている場合、または Java 用 API ライブラリ関数をご使用になっている場合 で、以下に示すバージョンアップを行った場合は本文章に従って移行を行ってください。

- ➤ CheckPointTools Rev.3.22 以前→CheckPointTools Rev.7.00 以降にバージョンアップ された場合
- ➤ Android 用 API ライブラリ Rev.3.00 以前→Android 用 API ライブラリ Rev.3.01 以 降にバージョンアップされた場合
- ディレクトリの表記について

API ライブラリインストールディレクトリを\$(API_LIBRARY)と表記します。 出力対象の IF を\$(SMTIF)と表記します。

- 手順
- 1. Android 用ポーティングガイドの『4 章 API ライブラリのインストール』に従って、 API ライブラリのインストールを行ってください。
- 2. "\$(ANDROID)/frameworks/base"にある Android.mk に追記いただいた SMT.java へのパスを、 以下のようにご変更ください。

```
...
# These are relative to frameworks/base
framework_docs_LOCAL_SRC_FILES := ¥
$(call find-other-java-files, $(dirs_to_document)) ¥
$(call find-other-html-files, $(html_dirs)) ¥
core/java/jp/co/dts_insight/emb/SMT.java
...
```

以降、Java のソースファイルにチェックポイントを挿入している場合、または Java 用 API ライブラリ関数を組み込んでいる場合はご覧ください。

Java のソースファイルにチェックポイントを挿入していない場合や、Java 用 API ライブ ラリ関数を組み込んでいない場合は手順5に進んでください。

Cpe を使用して、 を押しチェックポイントを削除した後、 を押し再度、チェックポイントの挿入を行ってください。

再挿入する際は、

● を押してチェックポイントを削除することで、チェックポイント

の挿入設定を維持したまま、チェックポイントが削除されます。

 UsrMsgTag0 等の API を挿入している場合は、import しているパッケージ名を jp.co.dts_insight.emb に変更ください。

変更例:

import jp.co.dts_insight.emb.*;

5. Framework の Android Java 用ライブラリの変更は完了しましたので、Android ビルド を行ってください。

以降は、Eclipse 環境に Android Java API ライブラリを組み込んでいる場合にお読みくだ さい。

- 6. Eclipse 環境に組み込んでいる SMT.jar を、 \$(APILIBRARY)/\$(SMTIF)/java/ecliopse にある、SMT.jar に変更してください。
- 7. Cpe を使用して、 むを押しチェックポイントを削除した後、 む を押し再度、チェッ クポイントの挿入を行ってください。

再挿入する際は、 🗟 を押してチェックポイントを削除することで、チェックポイント の挿入設定を維持したまま、チェックポイントが削除されます。

8. UsrMsgTag0 等の API を挿入している場合は、import しているパッケージ名を jp.co.dts_insight.emb に変更ください。

変更例:

import jp.co.dts_insight.emb.*;

9. Eclipse 環境への変更は完了しましたので、再度ビルドを行ってください。

2017年4月1日

株式会社DTSインサイト